

研究成果報告書の PDF ファイル作成時の注意事項

研究成果報告書（補助金分様式 C-19、基金分様式 F-19）の PDF ファイル作成時の注意事項です。各研究機関においては、研究代表者に周知していただくとともに、とりまとめの際、以下の注意事項が守られているか確認の上、提出してください。

【注意事項】

1. PDF作成ソフトウェアについて

所定の様式をAdobe Acrobat等のソフトウェアでPDFファイルへ変換すること。
印刷した紙の文書をスキャナ等でスキャンしてPDFファイルを作成しないこと。

2. PDF変換後の確認について

PDFに変換する際、レイアウトが崩れてしまったり、図表が表示されなかったり等の不具合が発生することがあるため、PDF変換後には次の点を確認すること。特に、Adobe社以外のPDFの作成ソフトを使用する場合には注意すること。

- (1) レイアウトが崩れていないか
- (2) 埋め込まれた図表や写真が表示されているか
- (3) 文字の欠落が無いか

3. フォントの埋め込み

特別なフォントを利用している場合にフォントを埋め込まずにPDFを作成すると文字が欠落する原因となるため、その際はPDFファイル作成時にフォントを埋め込む設定とすること。
ただし、有料のフォントを利用している場合等は著作権に抵触しないこと。

4. 文書セキュリティ

PDFの文書セキュリティ設定はしないこと。（全てのセキュリティ設定項目を解除しておくこと。）

5. ファイル名について

次のとおり設定すること。半角文字で「課題番号(8桁)seika.pdf」（例：17888888seika.pdf）

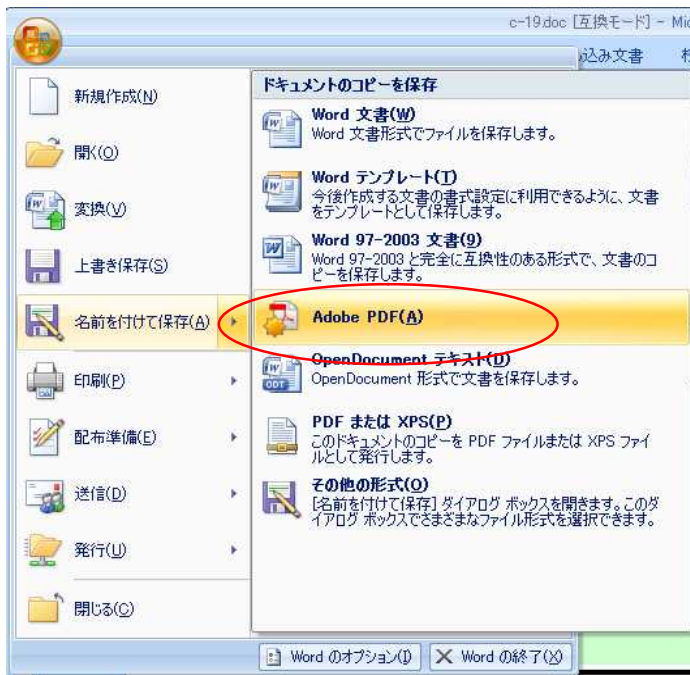
【PDF ファイル作成例】

1. Adobe Acrobatによる作成例

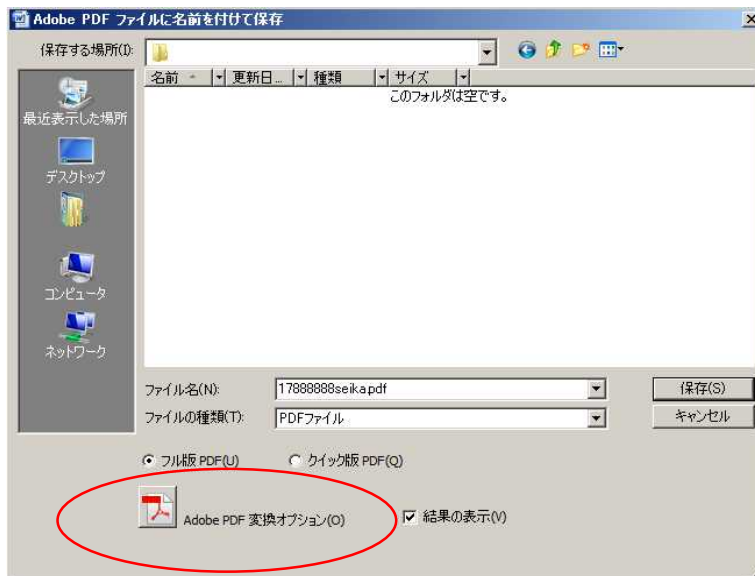
Adobe AcrobatでPDFファイルを作成する方法はいくつかあるが、Microsoft Wordの様式C-19又は様式F-19で作成後にメニューからPDFで保存する例として、Microsoft Office Word 2007で作成して Adobe Acrobat 8がインストールされている場合の作成例。

1.1. 保存方法

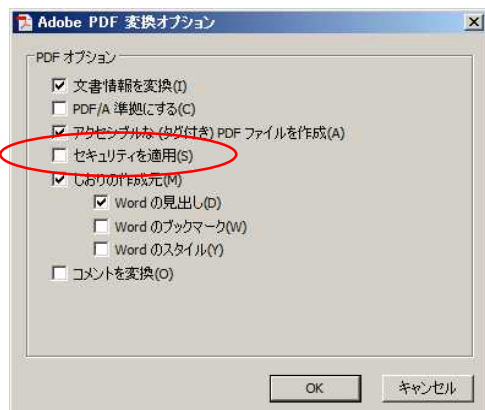
1.1.1. 所定の書式（様式C-19又は様式F-19）に記述後、「名前を付けて保存」から「Adobe PDF」で保存を選択



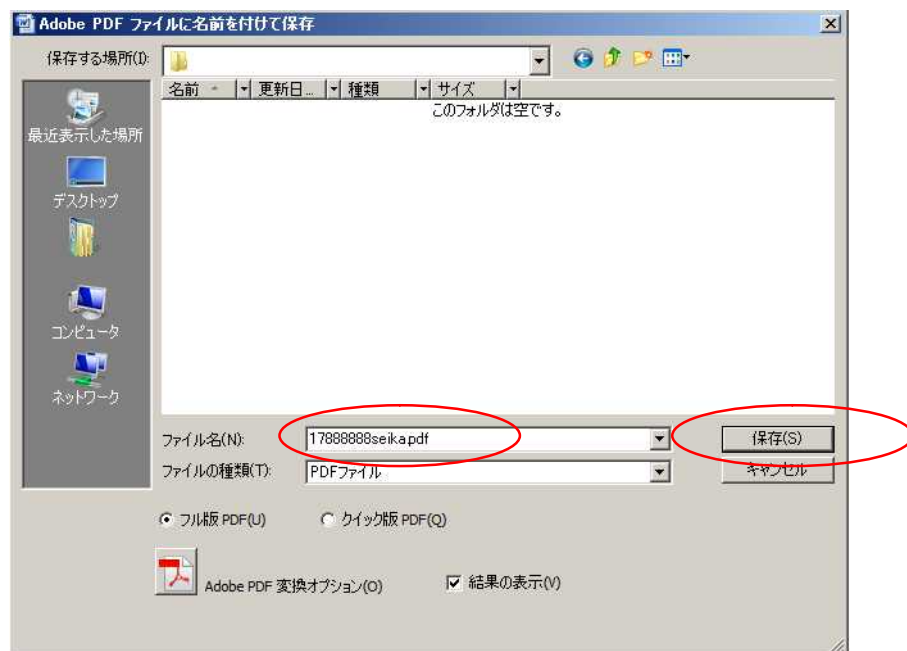
1.1.2. 「ファイルに名前を付けて保存」画面から、「Adobe PDF変換オプション」を選択



1.1.3. 「Adobe PDF変換オプション」画面で「セキュリティを適用」欄にチェックが無いことを確認



1.1.4. 「ファイル名」を指定して保存 (例 : 17888888seika.pdf)



1.2. フォントの埋め込みについて

Adobe Acrobatのバージョン8以降については、初期設定で全てのフォントが埋め込まれる設定となっているため、初期設定値を変更していない限りは変更の必要はない。Adobe Acrobatのバージョン7以前がインストールされている場合は、初期設定では全てのフォントが埋め込まれる設定とはなっていないので、フォントを埋め込む設定の変更が必要となる。

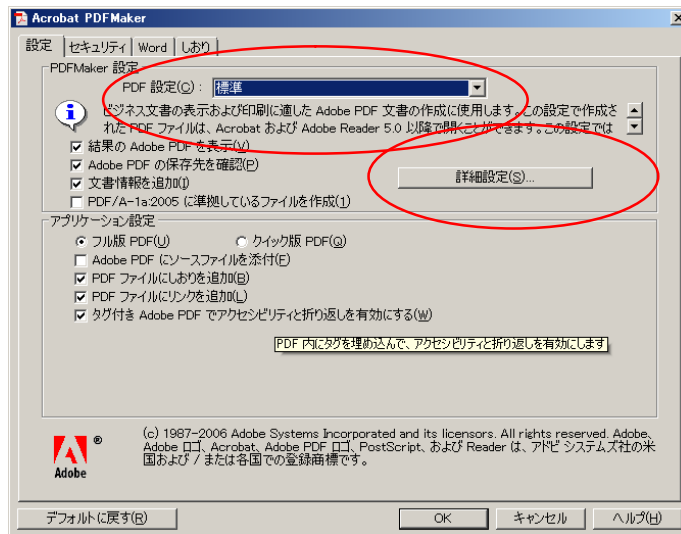
設定値の確認方法はAcrobat Distillerから確認する等のいくつかの方法があるが、Microsoft Office Word 2007のリボンから設定値を確認する例は以下の通り。

1.2.1. Adobeリボンから「環境設定」を選択



1.2.2. 「Acrobat PDF Maker」画面の「PDF設定」値を確認する

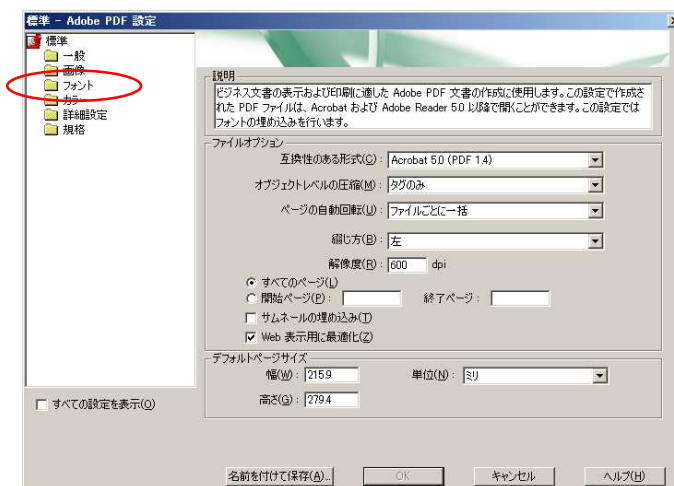
PDF設定が「標準」であれば通常は全てのフォントが埋め込まれる。



「標準」の設定内容を確認するには、「詳細設定」を選択して「Adobe PDF 設定」画面を表示させる。

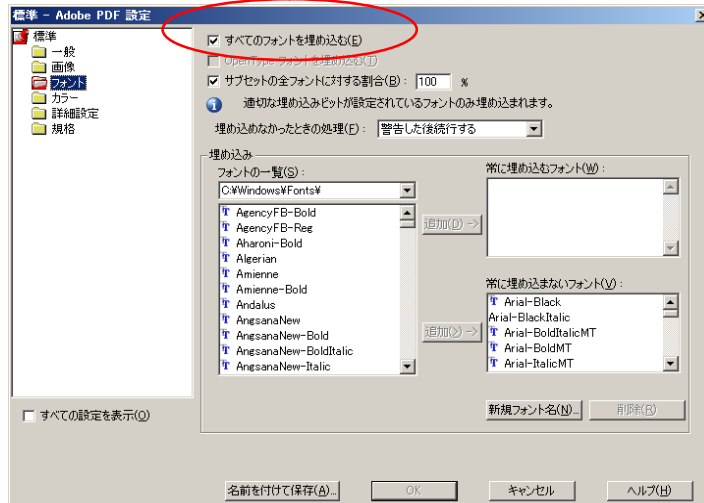
「標準」ではなく「最小ファイルサイズ」となっている場合は、フォントを埋め込む設定とはなっていないので、「標準」又はそれ以外へ変更するか、「詳細設定」でAdobe PDF設定画面を表示させ、フォント設定で「すべてのフォントを埋め込む」にチェックを入れる。

1.2.3. 「Acrobat PDF 設定」画面でフォントの埋め込みを確認する



フォントの設定値を確認するには、「すべてのフォントを埋め込む」にチェックが入っているかどうかを確認する。

チェックが入っていなければ、チェックを入れ、「OK」ボタンで設定を変更する。

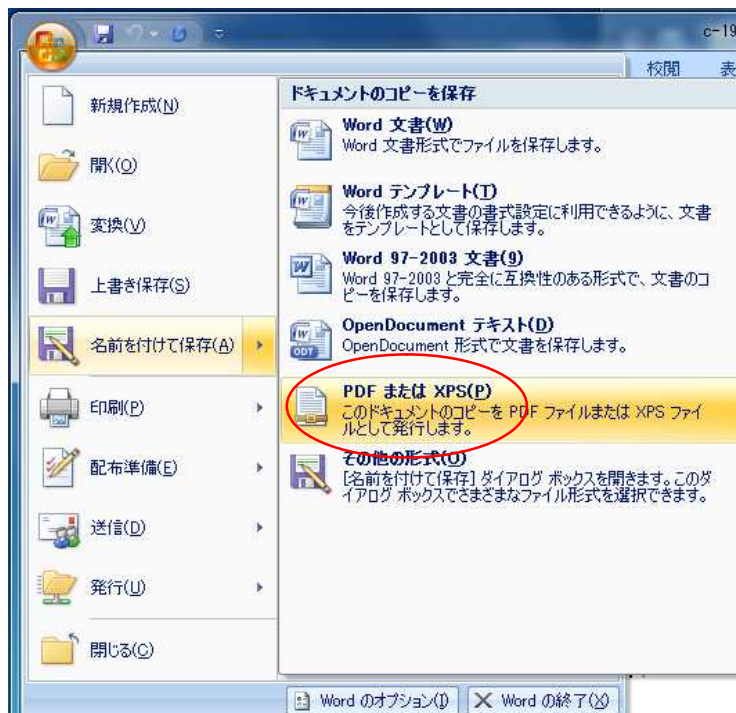


2. Microsoft Office Word 2007のPDF出力アドインソフトウェアによる作成例

Microsoft Office Word 2007のPDF出力アドインソフトウェアがインストールされている場合の作成例。(アドインソフトウェアはマイクロソフトダウンロードセンターから無償でダウンロード可能)

2.1. 保存方法

2.1.1. 所定の書式（様式C-19又は様式F-19）に記述後、「名前を付けて保存」から「PDF または XPS」で保存を選択



2.1.2. このソフトウェアでは、セキュリティは付与されず、フォントは埋め込まれる設定となっているので、このままファイル名を指定して、最適化の「標準」を選択して保存（「発行」）

